

特集

高齢者の安心・安全な在宅療養を支える 病院の救急医療と 地域・在宅との連携

地域包括ケアシステムの構築が推進される中、在宅療養をする患者や居住系施設で過ごす高齢者が増加しており、それに伴い高齢者の救急搬送も増加しています。また、急性期病院の救急臨床においては、受診患者に占める高齢者の比率が年々高まっており、平時からの在宅医療側との連携体制の構築が急務となっています。

「ときどき入院、ほぼ在宅」を実現するために病院の救急医療と在宅医療はどのように役割分担をし、安心・安全な高齢者の在宅療養を支える必要があるのでしょうか。各地の医療資源の特性も踏まえながら、地域における自施設の救急医療が果たす役割を再考する必要があります。

次号では、高齢者の在宅療養を支えるための病院の救急医療と地域・在宅との連携体制のありようについて、看護連携を1つの柱にヒントを提示します。

救急医療と在宅医療の連携の現状と課題 ● 坂上祐樹

【座談会】高齢者の安心・安全な在宅療養を支える救急医療と在宅医療の連携

● 浅香えみ子／太田祥一／尾崎直子／金子絵里香

「救急・在宅医療連携による地域介入が終末期医療に及ぼす影響の実証とメカニズムの解明」研究について よりよい高齢者の意思決定を支えるために ● 山岸暁美

地域包括ケアシステムにおける高度急性期病院の役割

患者の意向に寄り添い、早期介入で不要な入院を防ぐ武蔵野赤十字病院の看護実践

● 奥田悦子／加藤恵

在宅医療と救急医療を「つなぐ」看護師の実践 ● 土倉万代

医療ソーシャルワーカーからみた救急医療における退院支援の現状 ● 山根修

巻頭

大学院で学ぶ看護管理学現場の実践から新たな「知」を生むために⑩
日本赤十字看護大学大学院

編集後記

▶ 本誌の担当になって数か月が経ち、月刊誌の時の進むサイクルの早さには多少慣れてきましたが、7月に入った頃から来年の話をしていることに頭がまだまだ追いついておりません。自分のことだけでなく、スタッフのことや部署、ひいては病院全体のビジョンを作っていく看護管理者のみなさんのお仕事に頭の下がります。今月から読者アンケートを実施しておりますので、この先のよりよい誌面づくりのためにぜひ皆さまの声を寄せいただけたら幸いです。▶ 日本が亜熱帯化していると言われて久しいですが、数年前に亜熱帯のベトナムに行く機会がありました。街中でも暑い時間帯は日陰にあるハンモックでゴロゴロとしている人がたくさんいて、つい日本の「働き方」と比べてしまいました。エアコンの効いた部屋で壁に穴を開けないハンモックに揺られながら猫を撫でるのが夏場のルーティンになっています。

▶ さる7月2日、医学書院ナースングカフェ（セミナー）「看護管理者のためのスタッフケアとセルフケア——こころからだをケアして、信頼しあえる職場づくり——」を開催しました。本誌プロデュースではワークショップ型のセミナーは初めてだったのですが、約60名もの読者の皆さまが全国からお集まりくださいました。講師には中野民夫先生と栗原幸江先生をお迎えしました。対話やナラティブを基盤に、個人と組織の支援を数多く経験されてきたお2人による、場の雰囲気ありのまま丸ごと受け止めるようなフアシリテーションで、豊かな時間が形成されました。「これまでのキャリアや現場の課題を語り合い、じっくりと聴き合う体験を通じて、ご自身のこころからだを解放された」と参加者アンケートにお書きくださった方が多くおられました。東京・本郷の地での1日リトリート、また開催できればと思っています。

（小齋）

看護管理 第27巻第9号

2017年9月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2017, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2017年年間購読料

冊子版 本体16920円＋税

冊子＋電子版/個人 本体19920円＋税

電子版/個人 本体16920円＋税

（いずれも送料弊社負担）

『看護管理』編集室（担当：小齋、石塚、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

〔年間購読のお申し込み先〕

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された [0917-1355/17/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY] は、1論文1回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。